

自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(美術)
／野崎 窮

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ－1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれている必要がある。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

美術における教科専門の担当として、学校現場に関わる教科の基本的知識と技能を身につけることを第一の目的とした授業を計画している。その内容において過度に専門的になることをさけ、基礎的かつ初心者対象の学校現場を想定したものとする。また各授業において具体的に学校現場で活かせるような題材を具体的な参考作品等で提示する。授業によっては、教材開発の手立てとして、また学生の表現領域の拡大と鑑賞能力の向上をめざして、現代美術的な制作を試みたり、現代美術の代表的な作品をプロジェクター等を利用してしながら解説する。

2. 点検・評価

図画工作・美術における教科専門の担当として、学校現場に関わる彫刻分野の基本的知識と技能を身につけることを第一の目的とした授業を計画した。その内容において過度に専門的になることをさけ、基礎的かつ初心者対象の学校現場を想定したものとした。また各授業において具体的に学校現場で活かせるような題材を具体的な参考作品等で提示した。授業によっては、教材開発の手立てとして、また学生の表現領域の拡大と鑑賞能力の向上をめざし、現代美術的な造形表現を試みたり、現代美術の代表的な作品をプロジェクター等を利用してしながら解説した。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①特に学部の授業である「彫刻Ⅱ」の授業内容の精選をはかる。とりわけ木彫制作に関する授業において、今まで以上に、学校現場に活かせる内容にする。
- ②各学生の進路に応じたきめ細かで親身な対応を心がける。その際、言葉遣い等の社会人としての礼儀を指導する。
- ③ゼミにおいて各学生のプレゼンテーション能力の向上を図る。またコンクール等へ積極的にエントリーするよう促す。

2. 点検・評価

- ①特に学部の授業である「彫刻Ⅱ」の授業内容の精選をはかり、とりわけ木彫制作に関する授業において、今まで以上に、学校現場に活かせる内容にするため、作品サイズを小さくし、仕上げに時間を割けるようにした。この授業の授業評価アンケート結果は、総合評価において4.9であった。
- ②各学生の進路に応じたきめ細かで親身な対応を心がけた。その際、言葉遣い等の社会人としての礼儀を指導し、作文能力に関わる指導も行っている。学部ゼミ生が岡山県の中学における教員採用試験に合格した。
- ③ゼミにおいて各学生のプレゼンテーション能力の向上をはかった。またコンクール等へ積極的にエントリーするよう促し、地方レベルのコンクールであるが、入選した者がいた。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①例年通り、外部資金獲得のため彫刻コンクール等に積極的に応募する。
- ②全国的なグループ展、地域等のグループ展等、積極的に参加する。
- ③制作学、教材研究に関する資料収集をし論文作成の準備をする。

2. 点検・評価

- ①例年通り、外部資金獲得のため彫刻コンクール等に積極的に応募した。その中の特筆する事項としては、「あさご芸術の森大賞展」における「優秀作品展」に出品(入選)したことである。
- ②全国的なグループ展、地域等のグループ展等、積極的に参加した。一つの例として、地元作家を中心としたグループ展である「Asutamu Land Art Project展」に参加し、インスタレーションによる作品発表を行った。
- ③制作学、教材研究に関する資料収集をし論文作成の準備をした。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①大学院定員の充足のため、本コースの取り組みに積極的に関わるとともに、本研究室Webページの更新を定期的に行い魅力あるものにする。
- ②本コースにおいて本年度は、人事等により様々な意味で転換期であり、行事等が多いと予想される。それに関わる課せられるであろう役割を誠実に努める。また就職委員会委員、鳴風会幹事、職員宿舎の粟津会副会長として忠実にその責務を果たす。

2. 点検・評価

- ①大学院定員の充足のため、本コースの取り組みに積極的に関わるとともに、本研究室Webページの更新を定期的に行い魅力あるものにした。
- ②本コースにおいて、昨年度は人事等により様々な意味で転換期であり、節目の年であったが、本コースの人事における二つの選考委員会(新規採用、昇任)において、主査を務めるとともに、これに関わる次年度以降のカリキュラムの立て直しなどを積極的に提案するなど、コースに貢献した。また就職委員会委員、鳴風会幹事、職員宿舎の粟津会副会長として忠実にその責務を果たした。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①初等中等教科教育実践Ⅰ(学部)と教育実践フィールド研究(院)を通して附属学校との連携を深めていく。また附属学校で行われる教育研究会に積極的に参加する。
- ②例年どおり, 本学公開講座「デッサン教室」の講師を務め, 地域の文化に貢献する。

2. 点検・評価

- ①教育実践フィールド研究の取りまとめ役を行い, 質の高い題材研究となるよう指導をし, また, 附属小学校との連携を深めた。一方, 附属学校で行われた教育研究会に積極的に参加した。
- ②例年どおり, 本学公開講座「デッサン教室」の講師を務め, 地域の文化に貢献した。本年度も受講者数において定員枠を超えたことから, 地域に根ざしつつあると考えている。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

研究・作家活動の中で先述のコンクールにおける図録(作者の略歴、所属)や新聞社取材(徳島新聞における記事掲載)を通して鳴門教育大学および本コースの広報を間接的に行っていると考える。